【科目情報】

授業コード	1FCB609010	科目ナンバリング	FCALAW84009-J2
授業科目名	倒産法演習		
担当教員氏名	溝淵 雅男		
開講年度・学期	2022年度後期	曜日・時限	水曜2限
授業形態	演習		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	破産法・民事再生法に関する具体的事例等を検討する。質疑応答と議論を交えて双方向的に授業を行う。 重要度の高い分野を重点的に取り扱うこととする。
到達目標	受講者が民事再生法の基本的な概念を理解し、実務を取り扱う際に最低限必要な知識を習得すること。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	倒産手続の概要、手続の選択	事前に指定した事例を検討し、関連する知識を確認して授業に臨むことを前提とする。 授業において議論した内容を踏まえ、独力で課題事例についての解答を導けるよう十分に復習することが期待される。
第2回	倒産手続の開始に関する問題	同上
第3回	倒産手続の機関	同上
第4回	双方未履行双務契約の処理等	同上
第5回	賃貸借契約に関する問題	同上
第6回	別除権に関する問題	同上
第7回	債権の優先順位	同上
第8回	否認権①	同上
第9回	否認権②	同上
第10回	相殺権	同上
第11回	債権の届出・調査・確定に関する手続	同上
第12回	財産の管理・換価	同上
第13回	再生計画に関する問題	同上
第14回	自然人の破産	同上

第15回	個人再生手続	同上
第16回	期末試験	

成績評価方法	評価方法は、平常点20%、期末試験80%。絶対評価。 破産法・民事再生法の基本的理解を前提として、設定された事案の内容を適切に把握し、論点を抽出した上で具体的解決を導く力があるか否か等をもって判断する。
履修上の注意	倒産法は特別法であるため、民法・民事訴訟法・民事執行法等の基本法を理解していることが望ましい。 もっとも、基本法がどのように修正されるかは授業において適宜説明する。
教科書	三木浩一＝山本和彦編『ロースクール倒産法（第3版）』（有斐閣・2014）、山本和彦編著『倒産法演習ノート〈第3版〉』（弘文堂・2016）、藤本利一＝野村剛司編著『基礎トレーニング倒産法』（日本評論社・2013）。 適宜、レジュメを配布する。
参考文献	参考書としては、伊藤眞『破産法・民事再生法〔第4版〕』（有斐閣・2018）、全国倒産処理弁護士ネットワーク編『注釈破産法（上）・（下）』（きんざい・2015）、園尾隆司＝小林秀之『条解民事再生法（第3版）』（弘文堂・2013）、伊藤眞＝松下淳一編『倒産判例百選（第5版）』（有斐閣・2013年）等がある。
その他	